

## 凸版印刷、教育機関向け「多言語 WEB 連絡帳システム」を開発

教員と保護者が言語を意識することなく Web 上で定型文を選択し  
連絡内容を多言語で通知する「多言語 WEB 連絡帳システム」の実証実験を開始

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、総務省の委託研究「多言語翻訳技術の高度化に関する研究開発」を2020年6月9日より実施しています。

このたび凸版印刷は、WEB 上で定型文を選択することで連絡内容を多言語で通知する「多言語 WEB 連絡帳システム」(以下「本システム」)を教育機関向けに開発。2021年1月から2021年2月末まで実証実験(以下 本実証)を行います。

本システムは、教員が保護者への連絡を行う際、WEB 上で送信先と定型文を選択すると保護者があらかじめ登録した言語で連絡内容を一斉にメールで送信します。これにより、教員と外国人児童の保護者とのコミュニケーションを支援することを目指します。

なお、本実証の実施に伴い、本実証に参加を希望する教育機関を2020年10月から2020年12月まで、募集します。



システムの概要

© Toppan Printing Co., Ltd.

### ■ 開発の背景

日本社会における急速なグローバル化の進展に伴い、教育機関では在籍する外国人児童は増加傾向にあり、その国籍も多様化しています。教員は外国人児童およびその保護者との意思疎通が難しいことが大きな課題となっています。

凸版印刷はこれまで「VoiceBiz」をはじめ、在留外国人との多言語コミュニケーションを支援する多言語音声翻訳アプリを展開してきました。このたび、教育機関向けに WEB 上で連絡内容を多言語で通知することが可能な「多言語 WEB 連絡帳システム」を開発。教育現場において在留外国人児童の保護者と教員の間にある、言葉の壁をなくした教育環境の実現を目指します。

## ■ 本システムについて

### 【特徴】

本システムは教育現場において急増する在留外国人児童の保護者と教員のコミュニケーションを支援する多言語連絡支援システムです。教員はPC 端末やタブレット、スマートフォンのWEB ブラウザ利用し、保護者に対し連絡内容を9言語でメール配信することが可能です。

### 【翻訳可能な言語】

選択できる言語:9言語 日本語／英語／中国語(簡体字)／ベトナム語／ポルトガル語(ブラジル)／スペイン語／フィリピン語／ネパール語／ウルドゥー語

### 【利用方法】

WEB ブラウザにてWEB サイトへアクセスし、ID とパスワードの入力で認証を行うことによりシステムの利用が可能です。認証後、教員は送信先・定型文を選択し送信すると、保護者があらかじめ登録した言語で連絡内容を通知することができます。

### 【仕様】

・PC・タブレット・スマートフォン

ブラウザ:Safari、Google Chrome

通信環境:インターネットへの常時接続が可能であること。

※本システムを利用するには、別途申込書が必要です。

※ご利用後、アンケートへのご回答をお願いいたします。

※全ての端末での動作を保証するものではありません。

## ■ 本実証について

- ・実証期間:2021年1月から2021年2月末
- ・募集期間:2020年10月から2020年12月
- ・対象機関:小学校、中学校および保育所等の教育機関
- ・募集上限:50団体
- ・費用:無償
- ・参加申し込み方法:

下記のメールアドレスに参加申し込みの連絡を行ってください。

多言語 Web 連絡帳実証事務局 Mail: uketsuke-tagengo@toppan.co.jp

## ■ 今後の目標

凸版印刷は、本実証実験の結果をもとに教育現場における多言語コミュニケーションの支援をはじめ、外国人の受け入れを行うおもてなし事業者や在留外国人の増加が見込まれる自治体・医療機関などの分野に向けサービスの拡充を目指します。また、将来的には本システムにAI 翻訳技術を活用し、フリーワードに対応したテキスト翻訳を搭載予定です。

\* 本件は、総務省の「ICT 重点技術の研究開発プロジェクト(JPMI00316)」における「多言語翻訳技術の高度化に関する研究開発」の委託を受けて実施する研究開発の計画に係るものです。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上